

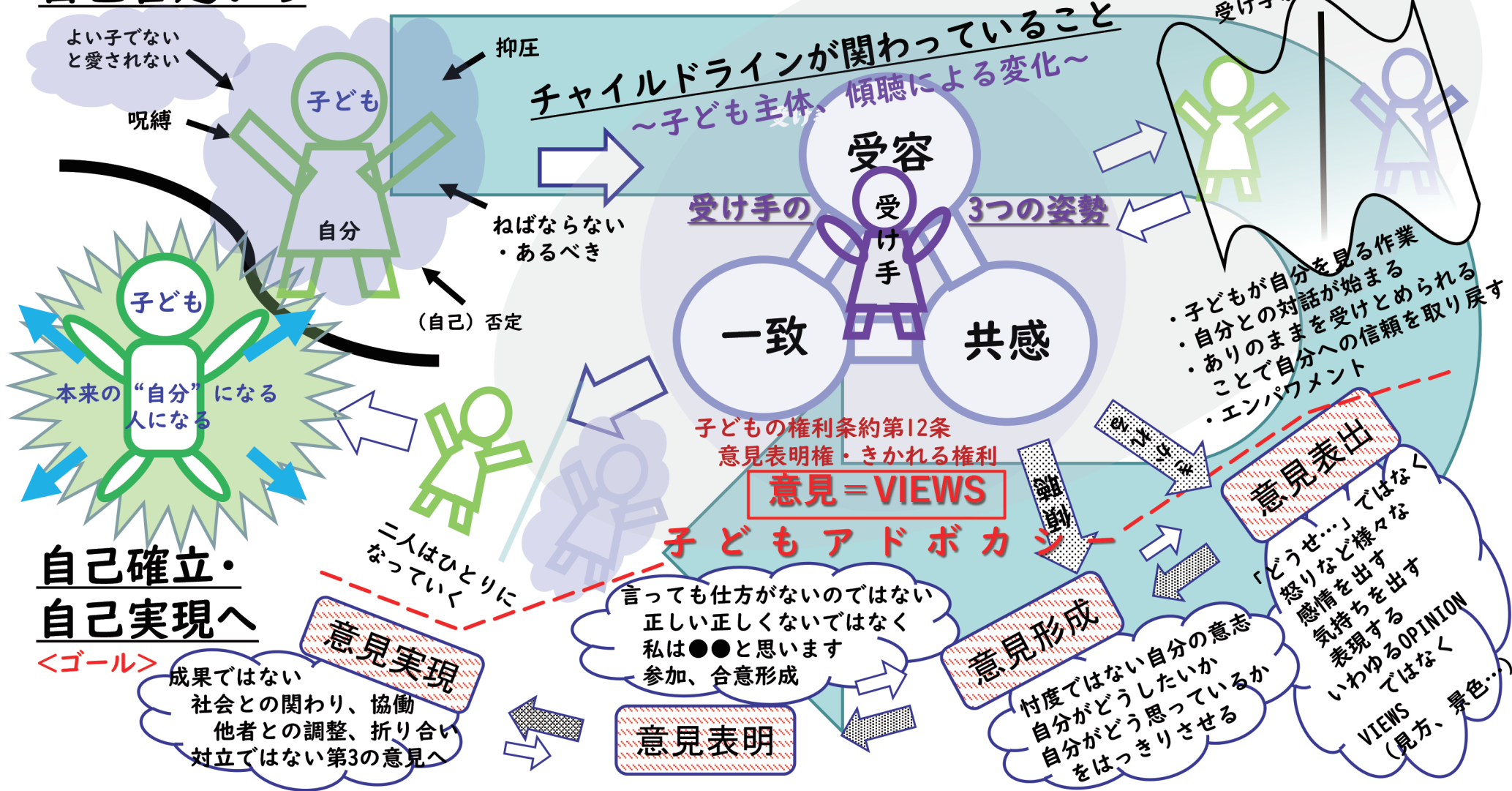
<スタート>

自己否定から

子どもが自己確立・自己実現していくプロセスに関わる

子どもアドボカシーとしてのチャイルドラインの役割

子どもとのやりとりの中で、
受け手が「鏡」となる



※一致=自己一致

受け手自身が自分自身としてもものと考え、生きているということ、そして自らその生き方をしているということが大切である。話を聴くときにも、その感覚で聴くということである。このように受け手の在り方そのものが、子どもに対して暗黙の内に影響していく。そのことによって、子ども自身も自己一致して自分らしく生きていくことになっていくのである。



【発行】 認定 NPO 法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク

〒514-0125 津市大里窪田町 2709-1 TEL&FAX 059-211-0024

E-mail info@childhelplinemie.net http://www.childhelplinemie.net/

【サポート】 子どもの心を受け止めるネットワークみえ

